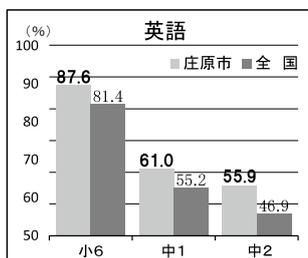
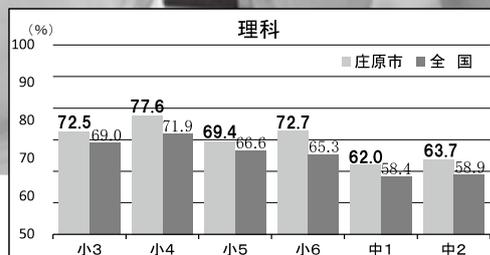
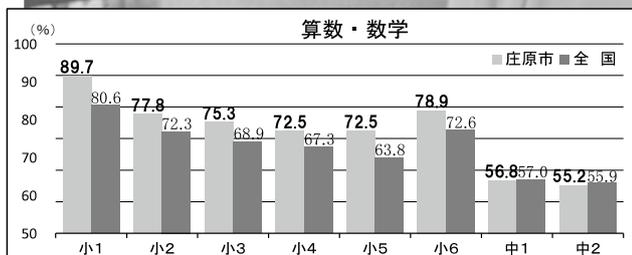
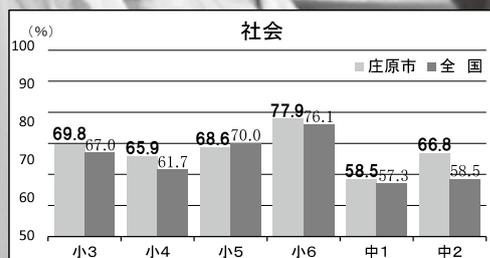
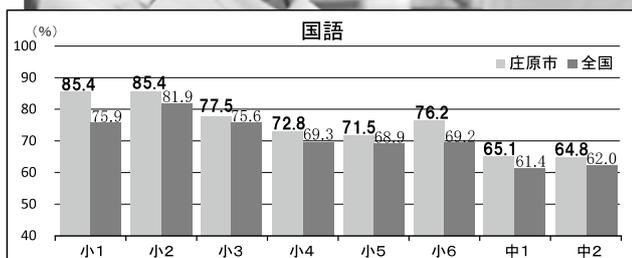


# 「主体的・対話的で深い学び」の 実現に向けた授業改善

令和3年度 庄原市小・中学校一斉学力調査から

教育指導課指導係 ☎ 0824-73-1184



市教育委員会は、市内小・中学校の児童生徒を対象に、「庄原市小・中学校一斉学力調査」を実施しました。（1月7日～13日実施）

この調査は、児童生徒一人一人に「基礎・基本の力」や「活用する力」が定着しているかを全国的な視点で把握し、各学校の授業改善や学習指導の充実を図ることを目的に実施しています。

小学1・2年生は国語、算数の2教科、小学3～5年生は国語、社会、算数、理科の4教科、小学6年生と中学1・2年生は、国語、社会、算数・数学、理科、英語の5教科の調査を行いました。

学力調査結果は上記のグラフのとおりです。ほぼ全学年・全教科で、全国平均正答率を上回っており、おおむね学力が定着していると言えます。特に、小学校の算数・英語、中学校の英語は、5ポイント以上全国平均正答率を上回っており、授業改善の成果が見られます。

各学校では、児童生徒一人一人の結果を全教職員で共有し、さらなる学力の向上に向けて改善計画を立てるとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業内容の工夫・改善に取り組んでいます。

今後も、本市教育の基本理念である「ふるさとの学びを原動力として高い志を持ち続け活躍できる人材の育成」をめざし、「学びと誇りが実感できるまちづくり」を推進します。